

有料職業紹介事業の見直し

2013/05/09

規制改革会議雇用WG

1. 基本的な考え方

「人が動く」、「失業なき労働移動」を促進させるためには、労働者の職探しを効率化するとともに就く仕事(企業)とのマッチングの質を高める必要がある。その意味で、ハローワークとともに有料職業紹介事業は大きな役割を担っており、両者が補完的・協力的な関係を構築するとともに、後者の役割が最大限発揮されるような環境整備、規制改革を行うことが必要不可欠である。

2. 国際先端テストの視点

- ・我が国の規制環境を世界最先端にするとの観点から、有料職業紹介は国際先端テストを行う項目の1つとして規制改革会議で決定。
- ・世界最先端の規制環境を目指すという観点からは、2002年以降のハルツ改革により、(1)民間職業紹介事業の許可制の廃止、(2)求職者からの手数料徴収の原則自由化、(3)職業紹介バウチャー制度の導入、を実施したドイツが参考になると考えられる。

3. 具体的な提案

- ・我が国の規制環境を世界最先端にするという観点からは、ドイツが行った有料職業紹介に係る上記3つの改革を日本も実施すべきではないか（できない場合は、その明確な理由をご提示いただきたい）
- ・ILO181号条約に批准している立場でも、許可制を届出制に変えることは可能である。求職者からの手数料を徴収していないことを前提に、原則、届出制にするべきではないか。
- ・上記のような規制改革が困難と判断される場合は、有料職業紹介事業の役割が最大限発揮されるような規制見直し、環境整備については何が必要かご提示いただきたい。

以上